

第97回宇宙政策委員会 議事要旨

1. 日時：令和4年5月16日（月） 16：00－16：40

2. 場所：中央合同庁舎4号館第1特別会議室

3. 出席者

(1) 委員

松井委員長代理、青木委員、遠藤委員、折木委員、後藤委員、中須賀委員、山崎委員

(2) オブザーバー

森昌文内閣総理大臣補佐官、山川宇宙航空研究開発機構（JAXA）理事長

(3) 事務局

内閣府宇宙開発戦略推進事務局：河西局長、坂口審議官、恒藤参事官

(4) 説明者

総務省国際戦略局宇宙通信政策課：山口課長

外務省総合外交政策局宇宙・海洋安全保障政策室：倭島室長

文部科学省：原審議官（研究開発局担当）

経済産業省製造産業局宇宙産業室：都築室長

国土交通省大臣官房：加藤技術総括審議官

環境省地球環境局総務課脱炭素化イノベーション研究調査室：河村室長

防衛省防衛政策局戦略企画課：田邊課長

4. 議事要旨

「宇宙基本計画工程表改訂に向けた重点事項（案）」について、事務局より資料1及び資料2に基づき説明を行い、委員からは以下の意見があった。

- 政府の調査・分析機能の強化が重要。関係府省において、宇宙に関する調査・分析を強化するとともに、それを共有する仕組みの構築などをすべき。
- 宇宙輸送の強化は重要。民間の小型ロケットの事業化の促進に関しては、小型衛星コンステレーションに関する研究開発との連携を図るべき。
- 安全保障の観点で、リモートセンシング法の運用に関する規則等について、現行のままで良いか、常に検討を行うべき。
- 宇宙は安全保障においても重要であり、世界情勢の変化を踏まえて今後強化が必要となる可能性もある。安全保障環境の変化などの情勢を踏まえて、引き続き、宇宙政策委員会で議論すべき。
- 宇宙分野においても、海外との取引には色々なリスクがあり、特にベンチャー中小企業等には政策的支援も必要。引き続き、実態をよく分析して、政府の支援のあり方について検討を深めるべき。

議論の結果、重点事項案は委員の意見を踏まえ一部修正を加えることでは承され、宇宙開発戦略本部へ報告することとなった。

以上